

## No.2390 屏風岩・住塚山・国見山

日 時：11月10日（日）

参加者：岡崎（L）、原、佐々木、岡本（記）

今日は7年ぶりに原さんが再デビュー。榛原駅で佐々木さんと私を拾ってもらい、雨男4人の山行となる。少しばらばらする程度の雨の中、屏風岩の麓の屏風岩公苑駐車場に9時半過ぎに着く。目前に屏風岩が聳え、天気が良いければ程々に良い紅葉が楽しめそうな場所だが、湿気をたっぷり含んだ空気とどんよりした空が、景色を少し冴えないものにしてしまう。

早速に準備に掛かる、が、今にも降ってきそうな空を見ながら、雨支度で出発する。公苑の紅葉した山桜の古木の散策道をしばらく行くと、住塚山への登山口がある。ここから、屏風岩の一番西にあたる鞍部まで急勾配の道が続く。鞍部からは住塚山まで尾根道が続き、所々で遠望が楽しめる。この時期としては生暖かい風が強く吹いてくるが、雨はぱらつく程度で、景色も霞んではいるものの意外に遠くまで見える。と、ここで佐々木さんが途中コンビニで買った昼食を車に忘れてきたことに、突然気づく。

住塚山が目前に迫る。最後の急な登りを、再デビューの原さんが少し辛そうに歩く。山頂は思った以上に視界も開け、倶留尊山や鎧・兜岳もよく見える。木々もかなり色づいているが、如何せん今日の天気、写真で見ると映えた紅葉とはいかない。しかし、土砂降りの天気予報で、この程度見えれば御の字だ。贅沢は言わず、目の前の景色を楽しむ。

国見山に向かう。折角稼いだ標高を急な下りが台無しにする。雨が中々降らない。と、何となく風向きが変わり、生暖かい風から冬の乾いた空気が変わる。そうこうしている内に、国見山との鞍部を過ぎ、しばらく行くと少し岩がむき出した急勾配の道になる。登り切ったところが国見山だ。眺望はこちらの方が良く、少し景色を楽しみ、再び出発する。

後は下りだけかと思いきや、どどつと下った後、松ノ山まで延々と階段道が続く。もう終わったかと思っただの登りは疲れる。少し退屈な植林帯の道を下りきると東海自然歩道に出る。ここがクマタワ峠だ。左へ行くと室生寺にでるようだが、我々は右に曲がり、そこで皆で仲良く昼食を取る。

簡易舗装の東海自然歩道だらだら下って行くと済浄坊の滝との分岐点に出る。ここまで来るともう雨は無いだろうと雨具を脱ぐ。雨男が4人も揃うと、流石に雨も逃げてしまうのかと適当なことを考えながら、安堵した気分で屏風岩公苑への道を取る。と、何とここから駐車場まで、舗装林道の登りが延々と1.6kmも続き、折角の安堵した気分が一転、最後にしんどい思いをすることになった。

駐車場に着くと少し晴れ間も出てきて、出発時よりは紅葉も綺麗に見えた。途中、誰一人にも会わず、雨にも遭わず、予想に反し、まあまあ山行日よりとなった。榛原駅で佐々木さんと私が下り、少し休んでから電車に乗ると突然激しく雨が降り出す。雨男と天気の関係は微妙なものだと感心する一日であった。

<参考タイム>

9:50 屏風岩公苑出発→10:15 一の峰鞍部→10:43 住塚山→11:30 国見山→12:02 松ノ山→12:20 クマタワ峠（昼食 12:55 発）→14:05 屏風岩公苑着